



2025年2月12日
東日本旅客鉄道株式会社

TAKANAWA GATEWAY CITY のパートナーに NEDO・MUFG はじめ新たに 25 社が加わります

～TOPPAN の共創拠点の開設や高輪地球益ファンドの第 1 弾出資先も決定～

- JR東日本が2025年3月27日にまちびらきをする100年先の心豊かなくらしのための実験場TAKANAWA GATEWAY CITYにおける広域スタートアップエコシステム^{※1}の活動拠点となるビジネス創造施設「LiSH」に新たに25社が参画し、パートナーが60社となります。今後も多様なパートナーとともに「地球益^{※2}」の実現をめざします。
- TOPPANは、THE LINKPILLAR 1 SOUTHにDXの研究開発・事業化共創拠点を開設し、デジタル技術とデータ活用によりグローバルで持続可能な未来の実現に取り組みます。
- 2024年12月12日にパートナーシップ協定を締結した三菱UFJファイナンシャル・グループ（以下、MUFG）が、「高輪地球益ファンド^{※3}」へ参画します。また、投資第1弾としてBoston Medical Sciences 株式会社に出資します。

※1 TAKANAWA GATEWAY CITY を拠点とした広域スタートアップエコシステム：https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305_ho02.pdf

※2 地球に対する負荷が高いこれまでの経済活動を見直し、地球と人間が調和する利益を目指すこと。

※3 地球益の実現を目指し、ファイナンス面からも社会実装を支援するファンド：https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241030_ho01.pdf

1. TAKANAWA GATEWAY CITYに新たなパートナー企業が参画

新たに25社をパートナーにむかえ、ビジネス創造施設「LiSH」・ビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA（以下、本イベント）^{※4}」・「高輪地球益ファンド」などの活動を通じ、100年先の心豊かなくらしにつながるビジネスや文化の創造に取り組みます。



※4 「TAKANAWA GATEWAY CITY を舞台に“地球益”の実現を目指す共創の祭典」をコンセプトに、スタートアップや多様な企業、アカデミアやアクセラレーターが一堂に会し、1者では難しい環境問題や健康寿命といった地球規模の社会課題解決を目指すイベント。

【主なパートナーとの取り組み】

● TOPPAN グループとともに取り組む「くらし・ビジネスのスマート化」

TAKANAWA GATEWAY CITY を実験場に、TOPPAN グループはスマートストアをコンセプトとしたDXによる業務の効率化や購買体験の価値向上にともに取り組み、本イベントの Match-up challenge 先行プロジェクトにおいて、スタートアップとの共創プロジェクトを発表します。また、共創の拠点として、THE LINKPILLAR 1 SOUTH へオフィスを設けます。

TOPPAN JR東日本

スマート
ソリューション

都市 OS などの
多様なデータ

● NEDO とともに取り組む「日本発ディープテックスタートアップの振興」

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) は、ディープテック・スタートアップへの研究開発・事業開発支援、起業家育成などに幅広く取り組んでいます。

NEDO JR東日本

スタートアップ
支援策の展開

多様な
実験フィールド

この度、LiSH および本イベントの EXHIBITS (ブース出展) への協力を通じ、JR 東日本との共創により、街を拠点とした広域スタートアップエコシステムの推進に取り組めます。

● MUFG とともに取り組む「広域スタートアップエコシステム構築の推進」※5

MUFG は、「高輪地球益ファンド」のパートナーとして出資するとともに、投資先スタートアップおよび LiSH 参画スタートアップ企業の成長を支援します。

MUFG JR東日本

多様な
ソリューション

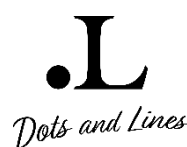
地域に根差した
重層的ネットワーク

また、取り組みから生まれた新しいサービス等の発信の場を THE LINKPILLAR 1 に開設します。

※5 2024 年 12 月 12 日 JR 東日本プレスリリース： https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241212_ho02.pdf

2. ビジネス創造施設「LiSH」について

2024年9月12日に発表した第1弾パートナー35社に続き、第2弾パートナー25社を発表します。LiSHではともに「地球益」の実現を目指す更なるパートナーを募集します。
公式ホームページ：<https://www.takanawagateway-lish.com>



LiSHは、日本各地や世界とつなぐ、広域スタートアップエコシステムの拠点となる施設です。

地方においては、例えば地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 燕三条」を運営し、ものづくり産業の活性化におけるノウハウを有する株式会社ドッツアンドライズをはじめ、多様な知やネットワークを有するパートナーが参画し、地方創生に取り組みます。

世界においては、例えばJTC（シンガポール政府企業）とのスタートアップ相互支援体制のもと、第1弾として、日本で唯一実用化されている省人化・無人決済店舗システム「TOUCH TO GO」のシンガポールでの実証を支援します。

また、LiSHでは別紙の通り、会員のビジネス創造に向けたプログラムを提供します。

3. 高輪地球益ファンド 第1弾出資先が決定

まちづくりパートナーとともに、国内外の環境、モビリティ(ロボット)、ヘルスケアの各領域で「地球益」の実現に資するスタートアップの支援を目指します。この度、第1弾として Boston Medical Sciences 株式会社(以下 BMS)に出資します。



世界初、高精度な仮想的腸管洗浄 AI とポリープ検出 AI による完全無下剤でのバーチャル内視鏡検査システムを開発

BMS の検査システムにより大腸がん検査受診のハードルを下げることで、大腸がんの早期発見を可能にし、予防の力で世界から大腸がんで亡くなる人を減らしていくという思いが、「地球益」のビジョンと一致し、出資を決定しました。今後は街での実証実験等を通じた BMS の事業成長を、まちづくりパートナーとの共創により目指していきます。

4. ビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA」について

(1) 2025年5月13日(火)～14日(水)開催「GATEWAY Tech TAKANAWA」のチケット発売開始

「GATEWAY Tech TAKANAWA」のチケットの発売を開始します。

公式ホームページ：<https://www.takanawagateway-lish.com/gateway-tech/>

(2) 『KDDI∞Labo』とのコラボレーションにより LiSH × MUGENLABO Café を開催

課題を抱える企業とソリューションを有するスタートアップをマッチングさせる Match-up challenge において、KDDI 株式会社の事業共創プラットフォームである『KDDI∞Labo』とのコラボレーションによる商談会を開催します。



(3) 協賛企業について

カルビー株式会社・大正製薬株式会社は、「地球益」の実現をともに目指すため、本イベントに参画します。TAKANAWA GATEWAY CITY を実験場としたヘルスケアサービスの創出に向けて、本イベントではスタートアップとのマッチングイベントである Match-up challenge に参加します。



(4) EXHIBITS (ブース出展) 出展スタートアップの決定

3つの重点テーマを中心とする、社会課題解決への技術・サービスをもったスタートアップ約70社が出展します。

出展スタートアップは順次公式ホームページで公開します。

<https://www.takanawagateway-lish.com/gateway-tech/>



※本プレスリリース内容は2025年2月12日現在の情報です。

【別紙】 <LiSH で開催されるプログラム>

LiSH では、新規事業や事業共創の創出を目的とする、様々なプログラムをパートナー企業とともにご用意しています。

Global Innovation Gateway Program 株式会社ICMG（以下、ICMG）

東南アジアの中でも急成長を遂げるシンガポールと TAKANAWA GATEWAY CITY を舞台に、日本企業の戦略的意思決定を加速する短期集中型のプログラムを提供します。ICMG・JR 東日本・シンガポール国立大学（NUS Enterprise）の3社がそれぞれの専門性を活かし、海外スタートアップとの連携をはじめとした、国境を越えたオープンイノベーション戦略構築を支援するプログラムです。本プログラム終了後も、TAKANAWA GATEWAY CITY および LiSH において、海外スタートアップ企業等との共創（実証実験を含む）を継続的に検討することができます。

インキュベーション・プログラム「WESION」 株式会社博報堂（以下、博報堂）

企業の事業成長や新規事業開発への挑戦を後押しする博報堂オリジナルのインキュベーション・プログラム「WESION」を提供します。みんなが解きたくなる未来への問いかけ＝Creative Question の共創を起点に新しいビジネスアイデアの構想と具現化をサポートします。博報堂のクリエイティブ性を活かし TAKANAWA GATEWAY CITY に訪れる生活者の方々によりよい体験として届けることで、スピーディーな事業検証を実現します。



地域ビジネス／地域プレイヤー創出プログラム 株式会社ジェイアール東日本企画（以下、jeki）

jeki が 10 年以上にわたり、官民連携で新しい価値を創造してきた 50 以上の地域をはじめ、より広範な箇所とともに価値を深化できるよう LiSH を情報発信・地域間交流の場として、また地域活性化の成果・技術ショーケースとして展開することで、LiSH から日本全国の地域ビジネス/地域プレイヤーの創出に取り組みます。

【プレ・プログラム開催】「地域創生 01 ミーティング TAKANAWA」2025 年 2 月 28 日
北海道・東北 4 つの地域の方と、ローカルビジネスを「ゼロイチ」で生み出すための課題と将来についてディスカッションします。

詳しくはこちら⇒ <https://takanawa-localprogram.jp/>

【参考】 <2024年9月12日発表第1弾パートナーおよび今回発表第2弾パートナー>



Ecosystem Enterprise



Cross Capital

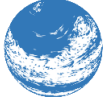


•HAKUHODO•





okamura



ONE EARTH GUARDIANS



PERSOL

パーソルキャリア



REGENESOME



RiceResin inc.



SHOCHIKU



SKY FARM



SOTHIS
TECHNOLOGIES



TAISHO



TOPPAN



UMAMI
BIOWORKS



<ビジネス創造施設「LiSH」について>

「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub (略称 LiSH)」は、ディープテック分野などの100社以上のスタートアップをサポートする多様な人材や支援制度を揃え、広域スタートアップエコシステムの拠点となる施設です。世界中の社会課題に対して、多様で先端的な知とのコラボレーションの機会や、鉄道データを含む街のデータ基盤（都市 OS）による分析、多様な資金サポートの提供により、ソリューションを生み出し、育て、社会実装までサポートします。

個室やコワーキングスペースに加え、ベースラボ、水圏ラボ、植物ラボ、微生物ラボなどのシェアラボを備えているほか、街全体を実験場として、様々なフィールドをご用意しています。

新たなビジネス創出に向けて、新規会員を募集しています。

LiSH 公式ホームページ：<https://www.takanawagateway-lish.com/>

お問い合わせ先：takanawagateway-lish@jreast.co.jp



	Lab				
	シェアラボ				個室
	ベース	特化			
	水圏	植物	微生物		
利用可能時間	24h				
受付時間	10:00~18:00				
広さ	約240㎡	約80㎡	約80㎡	約80㎡	約17㎡~26㎡
(個室会員) 個室の種別	-	-	-	-	3名~4名
(シェアラボ会員*) ベンチの数	20台	4台	4台	4台	-

【参考】2024年9月12日・10月30日リリース Match-up challenge 参画企業

企業名/募集課題	求めるスタートアップ像
<p>マルハニチロ株式会社</p> <p>①魚食のリデザイン ・長期保存可能、骨なし・美味・高い栄養価といった未来の魚肉開発。生臭さ低減、可食部100%化など、調理食材としての魚の変革。 ・魚の鮮度や価値などの美味しさが見える魚売り場用ツールの開発</p> <p>②パーソナル・スーパーフード ・PHRによる個人の健康状態や嗜好に基づいた「食」の開発・製造・提供</p>	<p>●2024年5月31日にリリースした「プラネタリーヘルスダイエット※1」の取り組みを進展させるソリューション <small>※1 人と地球に優しい食。参考プレスリリース： https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240531_ho01.pdf</small></p>
<p>明治安田生命保険相互会社</p> <p>商品・サービスのさらなる魅力化やお客さまとの接点の拡大に向けた、以下領域における新たな取組みの創出</p> <p>①人々の健康の維持・増進 ・ヘルスケア・QOLの向上に資する商品・サービスの提供</p> <p>②地域社会の活性化 ・地域課題の解決に資する取組みの推進</p> <p>③新たな体験を生み出す技術の革新 ・IT・デジタル領域での新技術を活用したお客さま向けの新たな体験価値の提供や、業務のさらなる効率化・高度化に資する技術の探索・導入</p>	<p>●未病・予防、早期発見・先進検査、介護・リハビリ、ヘルステック、バイオサイエンス、メンタルヘルス、フードテック、子育てなど</p> <p>●コミュニティ創出、スポーツ、教育、地域文化、ツーリズムなど</p> <p>●AI、Web3.0、メタバース、AR・VRなど</p>
<p>松竹株式会社・松竹ベンチャーズ株式会社</p> <p>①新たなIPコンテンツの創造 ・新しいキャラクター・コンテンツの開発と運用 ・クリエイターエコノミーの構築と活用</p> <p>②最新技術を活用した新たなデジタル体験の創造 ・映画館・劇場を活用した新規サービス提案 ・ビッグデータやAI・AI画像生成技術を活用したデジタルマーケティング</p> <p>③新領域でのエンタメ創造への挑戦 ・楽しく行う健康管理など、他業種にエンタメ要素を付与したサービス ・歌舞伎座などのランドマークを軸とした観光サービス</p>	<p>●既存アセットやコンテンツを活用した、新たなIPコンテンツ創造へのチャレンジ</p> <p>●デジタル領域に強みを持ち、新しい顧客へのリーチや新たな体験の創出</p> <p>●他業種からエンタテインメント領域への展開を志すスタートアップ</p>
<p>TOPPAN株式会社・TOPPANデジタル株式会社</p> <p>①スマートストア(CVS・SMなど)の実現 ・顧客満足度の最大化を実現し、省人・省力化などの課題解決を図るスマートストアの実現</p> <p>②多言語マルチモーダルコミュニケーションAIの共創 ・マルチモーダルなAI機能※3の活用により、エリア全体の情報を効率的に学習し、各種施設やアプリで横断的に最新データを発信する仕組み</p> <p>③中長距離無線給電システムの用途拡大・共創 ・物流拠点、病院や店舗などでのユースケースに加え、給電環境起因により阻害されていた災害現場での活用など、電源課題の解決への挑戦 <small>※3 テキスト・画像・音声・動画など複数種類のデータを総合的に処理できるAIのこと</small></p>	<p>●需要予測に基づくダイナミックプライシングを可能にするAI技術</p> <p>●学習の自動化に繋がるマルチモーダル認識AI技術や生成AI技術、広域案内AR技術</p> <p>●無線給電対応受電モジュール※4を活用した無線給電対応センサー、IoT機器など <small>※4 TOPPANの有するワイヤレス給電ソリューション</small></p>
<p>株式会社伊藤園</p> <p>①サプライチェーン全体の最適化 ・AI活用による販売予測、生産計画、在庫配置、拠点引取など正確性向上と効率化 ・自動販売機のオペレーションにかかるDXの推進</p> <p>②茶のウェルビーイング ・お茶のある暮らしで「人生100年時代を豊かに生きる」を実現する研究とソリューション</p>	<p>●AI、ロボティクス技術活用によるサプライチェーン提案</p> <p>●食と健康に貢献するソリューション</p>

< 「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくり概要 >

品川開発プロジェクトの一環として、江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組んでいます。

そして、まちづくりを進める中で出土した高輪築堤は、国指定史跡の第7橋梁部および公園部の現地保存・公開（2027年度予定）に加え、信号機土台部の移築保存・公開や先端技術を活用した展示、まちのランドスケープ等での保存・活用を通して、日本で初めて鉄道が走ったイノベーションの地としての記憶を、次の100年に継承していくことにより、地域の歴史的価値向上に努めていきます。

2025年3月27日まちびらきより、THE LINKPILLAR 1の開業および高輪ゲートウェイ駅が全面開業し、その他の棟（THE LINKPILLAR 2・MoN Takanawa: The Museum of Narratives・TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE）および各棟周辺エリアを2026年春に開業します。

今後続くTAKANAWA GATEWAY CITYおよび品川駅周辺エリア（品川駅北口駅改良・品川駅街区）のまちづくりと一体となった価値向上に向けて、品川開発プロジェクトを推進していきます。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)

< 関連するこれまでのプレス >

- 2022年4月21日 高輪ゲートウェイシティ（仮称）のまちづくりについて
～「Global Gateway」の実現に向けて、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」を構築します～
https://www.jreast.co.jp/press/2022/20220421_ho01.pdf
- 2023年5月16日 未来への実験場「TAKANAWA GATEWAY CITY」
～100年先の心豊かなくらしに向けて多様なパートナーとつくりあげる環境先導のまちづくり～
https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230516_ho02.pdf
- 2024年3月5日「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点とした広域スタートアップエコシステム
～100社以上のスタートアップを支援「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」が誕生～
https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305_ho02.pdf
- 2024年10月30日「TAKANAWA GATEWAY CITY」～2025年3月27日 いよいよまちびらき～
https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241030_ho02.pdf
- 2025年2月4日 100年先の心豊かなくらしのための実験場 TAKANAWA GATEWAY CITY
まちびらきまであと50日 街の誕生を彩るサービス・イベントが決定
https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250204_ho03.pdf



<TOPPAN グループについて>

TOPPAN グループは、“Digital & Sustainable Transformation”をキーコンセプトに、「DX」と「SX」によって、ワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、グループ一丸となり、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいます。

「人を想う感性と心に響く技術で、多様な文化が息づく世界に。」をパーパスとする TOPPAN グループは、TAKANAWA GATEWAY CITY を拠点とした広域スタートアップエコシステムが目指す 100 年先の心豊かなくらしにつながるビジネスや文化の創造に共感し、様々な実証や企業との共創を通じて新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりへ貢献します。

<国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)について>

持続可能な社会の実現に必要な研究開発の推進を通じて、イノベーションを創出する、国立研究開発法人です。リスクが高い革新的な技術の開発や実証を行い、成果の社会実装を促進する「イノベーション・アクセラレーター」として、社会課題の解決を目指しています。

<三菱 UFJ ファイナンシャル・グループ (MUFG) について>

MUFG のネットワークを活用し、社会課題の解決として大企業やスタートアップとのオープンイノベーションを通じた産業育成に取り組んでいます。TAKANAWA GATEWAY CITY における取組みへの参画にあたっては、MUFG としての総合力を発揮し、高輪地球益ファンドの出資先や LiSH に参画しているスタートアップ等の支援ならびに本プロジェクトを通じた PoC・事業への参画を図ってまいります。

<Boston Medical Sciences 株式会社 (BMS) について>

早期発見・予防の力で世界から大腸がん死を根絶するを目的に、世界で初めて高精度な仮想的腸管洗浄 AI とポリープ検出 AI による完全無下剤でのバーチャル内視鏡検査システムを開発。早期にグローバルで展開し、大腸がんという、人類のペインを解決することを目指します。

<KDDI∞Labo の取り組みについて>

KDDI は、2011 年から国内事業会社初のインキュベーションプログラムとして、「KDDI ∞ Labo」を開始し、2021 年で 10 周年を迎えました。2013 年には国内大手企業複数社を束ねたパートナー連合を組成し、KDDI のみならずさまざまな大手企業とともにスタートアップとの連携を推進してきました。また、2018 年にはインキュベーションプログラムから事業共創プログラムに形態を変え、2021 年度にはパートナー連合によるスタートアップの事業支援件数が年間 300 件を越えるなど、大手企業とスタートアップとの事業共創を目指した活動を継続しています。

<カルビー株式会社について>

カルビー株式会社は、新たな食領域を成長の軸として確立することを目指し、「食と健康」事業を推進しています。お客様一人ひとりの健やかなくらしを実現するために、健康との関わりが深く人それぞれ異なる「腸内フローラ」に着目し、2023 年 4 月に、個人の腸内フローラを検査してグラノーラを定期購入するサービス「Body Granola (ボディグラノーラ)」を立ち上げました。私たちは、自分のカラダの状態を知り、自分に合ったものを選び、楽しく続けるためのプラットフォームの構築を目指しています。今回、TAKANAWA GATEWAY CITY における協業を通じて、新たな価値が創出できることを期待しています。

<大正製薬株式会社について>

人々の病気を予防し、健康を増進させたい。こうした思いから大正製薬は大正元年に創業しました。以来、100 年以上にわたって生活者の皆さまの健康で豊かな暮らしの実現に貢献するために、病気の予防から治療までの幅広い製品ラインナップで、皆さまのさまざまなニーズにお応えしてまいりました。昨今、製薬業界を取り巻く環境は大きく変化し、健康意識が高まるなど生活者の皆さまのニーズも多様化しています。大正製薬は、このような変化に柔軟に対応しながら、高品質な製品とサービスを提供し続けることで、皆さまの健康に寄り添ってまいります。